

国見町は、千年以上育まれてきた国見の歴史・伝統・文化をこれから百年後に伝えていくため、これらを生かした「歴史まちづくり」を進めています。このコーナーでは町や地域が行っている取り組みについて、毎月お伝えしています。

【企画調整課地域振興係 ☎ 585-2967】
【あつかし歴史館 ☎ 585-4520】



郷土史研究会×国見町歴史まちづくりフォーラム 方部研修会「小坂・観音堂を歩けば」を開催

郷土史研究会と国見町歴史まちづくりフォーラムが11月27日、小坂地区でまちあるきイベントを行い、町内外から約50人が参加しました。

当日はすがすがしい晴模様で、日差しが当たるとポカポカと暖かさを感じました。小坂農村総合管理センターを発着とし、3.5kmのAコースと2.5kmのBコースの2コースに分かれ、郷土史研究会会員の解説を聞きながら、小坂地区を散策しました。

休憩所となった福源寺地蔵庵観音堂では、観音様を守る会の皆さんから、果物やふかし芋の振る舞いがありました。心温まるおもてなしに、参加者からは笑顔が溢れていました。



参加者の声

Aコースに参加した皆さん

同じ職場のメンバーで参加しました。普段も散歩をしていますが、みんなで歩くとより楽しいです。車では通り過ぎてしまうところも、歩いてゆっくり見ることによって、たくさん知ることができました。地元に来て良かったことがなかったところを見られて良かったです。



深山神社大権・大藤

まちあるきの様子

松蔵寺

観音堂にて

歴史再発見

お正月特集～国見の民話かるた～

昭和55年～59年に「国見民話の会」の前身である「木曜会」の会員が中心となって、町内のさまざまな方から聞き取りをし、100余話の伝説・昔話・風習・文化財に関する話などをまとめた「国見の民話」を編纂しました。

その後、昭和62年に45話を「国見の民話かるた」として抜粋し、読み札（ことば）を内池和子さんが、取り札（イラスト）を鈴木道代さんが手書きにて作成しました。

口頭で語り継がれてきた民話が、書籍やかかるたなど形あるものとして、現代に受け継がれています。

これから「国見の民話かるた」について、詳しく紹介していきます。



岡野 希春
(Kiharu Okano)

— Activity Report —

Vol.29

地域おこし協力隊活動日記



▲詳細はコチラ

りんごの木オーナーの方と収穫体験を実施

こんにちは、地域おこし協力隊の岡野希春です。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

今回は私の活動内容についてお伝えします。

桃の木オーナー制度に続き、りんごの木オーナー制度を実施しています。りんごの木オーナーは、生育過程を楽しみながらりんごを受け取ることができる仕組みです。11月末にはりんごの収穫体験会を行いました。



▲シェアしているりんごの木の前で



▲自分で収穫したりんごを味わいました！

当日は農家さんからおいしいりんごの見分け方を教えてもらったり、食べ比べなどを行いました。桃の木オーナー制度から引き続き参加して下さった方や、はるばる福島に遊びに来た方まで。

参加者からは「たくさん手間と時間をかけているからこそ、おいしいりんごができていたと感じた。味わい方が変わった」「こんなおいしいりんごを食べたのは初めて。品種によって全然味が違った」などの感想が聞かれ、りんごの魅力をぎゅっと感じられる時間になりました。



大内 弦人

野村 慧介

堀江 咲羽

秦 零月

【消しゴムハンコで作るデザインバック】
県北中学校（1年）

心なみオトたち